会派間確認事項様式②

出張報告書

令和　５年　12月　19日

市議会議長　　様

会　派　名　きしわだ未来

代表者氏名　烏野　隆生

下記のとおり報告します。

記

１　目　　的　全国都市問題会議出席のため

２　出　張　先　青森県八戸市

３　出張期間　　令和５年１０月１１日～令和５年１０月１３日

４　出張者氏名　反甫　旭

５　てん末報告　別紙の通り

第８５回全国都市問題会議（八戸市公会堂）

１０月１２日(木)
【基調講演】
アートの役割って何だろう？
　東京藝術大学長　アーティスト　日比野克彦
【主報告】
八戸市の文化・スポーツによるまちづくり
　青森県八戸市長 熊谷雄一
【一般報告】
まちづくりの活力は地域に根ざした文化政策から育まれる
　文化事業ディレクター　演出家　吉川由美
標高差１５００ｍの地勢を活かしたスポーツ・ツーリズムの創出
　長野県東御市長 花岡利夫
まちづくりにおけるプロスポーツクラブの有効活用
　株式会社鹿島アントラーズＦＣ　取締役副社長　鈴木秀樹

１０月１３日(金)
【パネルディスカッション】
テーマ：文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展
コーディネーター：東京大学大学院人文社会系研究科教授　小林真理
パネリスト：合同会社 imajimu 代表取締役　今川和佳子
　　拓殖大学商学部教授　松橋崇史
　　静岡県沼津市長　頼重秀一
　　京都府綾部市長　山崎善也

【考察】

今回の会議は文化芸術・スポーツが大きなテーマであった。本市には魅力創造部文化国際課が南海浪切ホール・マドカホール・自泉会館といった施設を所管している。近年、財政状況も厳しくなり、行財政改革としてそうした施設も経費削減などの対象となっていることもある。それが時代の流れで当たり前のように感じていたところも私自身あったが、今回の講演を聞いて、全国的には文化芸術に力を注ぎ、まちの活力としている自治体が多くあるとわかった。本市の課題として施設などのハード面に予算がかかりすぎており、ソフト面に予算をかけることができていないと感じている。いろいろな団体もあるので連携しながら、文化芸術にも力を入れてまちの魅力を向上させたいと思う。